



わたなべ正博 通信

わたなべ正博

検索



No.120

2015年3月

2つの議会でゴミ問題について質問

「上田市議会・上田地域広域連合議会」

メールアドレス: masahiro3660@mac.com 上田市下之郷 473-1 TEL38-4452・FAX38-7935・携帯 09015542698 【わたなべ正博後援会】

【部内資料】

上田市議会
3月定例会
【2月23日開会】

資源循環型施設建設対策連絡会は 循環型地域環境をつくるエネルギー

Q ごみ焼却施設建設にむけ資源循環型施設建設対策連絡会から出された質問に対して意見交換会が再開できる「答え」は持ったのか。

なぜ「清浄園」なのかの「答」がない

A 意見交換会の再開に向けては、
① なぜ清浄園用地なのか
② ごみの減量化目標の設定と具体的な施策の構築
③ 生ごみ堆肥化など生ごみの減量化など、上田市としての考え方を示す必要があると考えている。
地域振興策の基本的な考え方なども示し、全市民がごみの減量化に取り組む、施設周辺の環境負荷の軽減に努めていく。し尿前処理下水道放流

施設の建設計画の早期具体化を全力で取り組む。

地元は監視の権限を持っている

Q 資源循環型施設建設対策連絡会は、ゴミ問題に最も関心の高いみなさんで、具体的提案を持っていきます。資源循環型の地域環境をつくる上での最大の担い手、エネルギーではないでしょうか。

現に、この地域では地元と行政との間で、公害防止協定が結ばれ、住民が監視の権限を持っていることを考えれば、そのみなさんのエネルギーと知恵を活用させていただかない手はないだろうと思うがどうか。



A 諏訪部、秋和自治会を含む資源循環型施設建設対策連絡会を構成する

地域の皆様には、市民生活に欠かせない施設を受け入れていただき、心から感謝を申し上げます。

高い見識の上に 立った提案を参考に している

対策連絡会の皆様には、これまで、独自にごみ焼却施設や生ごみ堆肥化施設を見学するなど、環境問題について高い見識を持たれるとともに、勉強会を開催するなど幅広い研究をされている。また、市に対しても、様々な提案や意見を寄せただいていて、これまでも、参考にさせていただいている。

今後も、更なるごみの減量化・再資源化を進めるに当たり、対策連絡会の皆様からの、提案や意見も踏まえ、全市でごみの減量化をすすめる。

わたなべ正博のノート

- 1日 塩田地区自治会連合会総会
- 2日 高村京子事務所開き
- 3日 上田駅モーニングスピーチ
- 4日 3月議会「代表質問・個別質問」
- 5日 「久保田由夫議員共産党代表質問」
- 6日 成瀬拓議員個別質問
- 7日 神畑交差点「朝の手振り」
- 8日 古市順子・渡辺正博議員個別質問
- 9日 さくら国際高等学校卒業式
- 10日 議会広報特別委員会
- 11日 党市議団会議
- 12日 晴夫ちゃんと昼食「別所温泉」
- 13日 上田生協診療所で定期検診
- 14日 モルティイ街宣
- 15日 党塩田西後援会総会
- 16日 東塩田防犯協会総会
- 17日 上田駅モーニングスピーチ
- 18日 議会産業水道委員会「協議会」
- 19日 宮島交差点「朝の手振り」
- 20日 議会産業水道委員会
- 21日 「右に同じ」
- 22日 議会会派代表者会議
- 23日 党演説会「丸子セレスホール」
- 24日 浅間池代表会
- 25日 中組自治会敬老会
- 26日 下之郷水土里まもり隊総会
- 27日 朝の手振り「神畑交差点」
- 28日 池波正太郎真田太平記館文化講座
- 29日 3月議会閉会
- 30日 塩田中学校卒業式
- 31日 東塩田小学校卒業式「新体育館」
- 東塩田交通安全協会総会
- モルティイ街宣
- 女性のつどい「上田市勤福センター」
- 上田駅モーニングスピーチ
- 朝の手振り「宮島交差点」
- 広報広聴モニターとの懇談会
- 土地開発公社理事会
- 理事者と議会との懇談会
- 広域連合「保健福祉員会」
- モルティイ街宣
- 生島足島神社総会
- 下之郷三頭獅子舞保存会総会
- 朝の手振り「神畑交差点」

【3月】





上田地域広域連合議会 (2/18・20) ゴミ処理広域化計画の「ゴミの減量 ・生ゴミ処理・し尿処理」について その対策を問う・・・

市町村長に聴く

- ① 平成27年度減量目標達成まであと何トン
- ② 生ゴミ処理対策
- ③ し尿処理対策

【上田市】検討中・・・

【母袋創一 上田市長】

- ① あと1287トン
- ② 生ゴミ減量化機器等の補助率及び限度額の拡大を検討中。また、コミュニティ単位に大型生ゴミ処理機を設置し、肥料化することが出来ないか検討中。
- ③ 設置可能な処理施設の絞り込みをすすめている。

込む計画で、地元の合意はできているので平成28年度施設改修し、29年度内の稼働を目指している。

【東御市】「生ゴミ処理・し尿処理」は平成29年度中に実施・・・

【花岡利夫 東御市長】

- ① あと1000トン
- ② 東部クリーンセンター内に「生ゴミリサイクル施設」の建設を計画し、平成29年度内の稼働を目指している。
- ③ 川西衛生センターに持ち

【長和町】生ゴミ処理は平成24年度から実施 可燃ゴミ減量に成果・・・

【羽田健一郎 長和町長】

- ① あと10トン
- ② 平成24年4月から長門牧場内で生ゴミ堆肥化施設を稼働し、分別収集。結果平成23年度と比べて17%減の960トンまで可燃ゴミを減量、完成した堆肥については、町内希望者に無料配布。
- ③ 下水処理施設の長門水処理センターに「し尿稀釈投入施設」を青木村と共同で設置し、平成30年度稼働させる計画。

新しい波 信州から

630回を超える上田駅前でのモーニングスピーチ(毎週月曜日)その粘り強さはそうそう真似できるものではないと高村京子県議会議員です。



【青木村】し尿処理は長和町と共同で平成30年度中に実施・・・

【北村政夫 青木村長】

- ① あと21トン
- ② 平成27年度は、生ゴミ処理器等購入の補助率を今までの二分の一から四分の三に上げる。
- ③ 長和町と共同で処理を行う。(発言順)

日本共産党県議団「頼れる推進力」これまでの軌跡をみる

1999年…党県議団2人から5人「県政の大きな転換点の年」
* 県民の運動と結び、小学校一年生に30人規模学校導入を実現

2002年…党県議団5人から6人「補選で高村京子県議誕生」
* 議案提案権獲得・代表質問が可能になる
* 強引な高校統廃合を中止
* 不公正な同和行政の廃止
* 8つのムダなダム計画の中止
* 議会改革「透明度全国一といわれる政務調査費の全面公開・公費での海外視察制度廃止」

2007年…党県議団6人から7人
* 反貧困の取り組みに県が助成支援
* 全国初の非正規の実態調査の実施

2011年…党県議団6人
* 中学3年まで30人学級を拡充
* 非正規職員の待遇改善の前進
2015年…積極的提案が実る
* 県内大学に進学する学生の入学金補助(給付型奨学金)が実現、全国初です
* 子どもの医療費中学卒業まで無料(入院)になる